

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	測量学II	
科目基礎情報					
科目番号	c0100	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科	対象学年	2		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	大杉和由他(著)『工業715 測量』実教出版, 2022年. 予定定価1811円				
担当教員	島崎 彦人				
到達目標					
次の項目について理解する。 1. 距離の定義と測定方法 2. 距離測量の系統誤差の補正方法 3. 水準測量の器械類と方法 4. 角測量の器械類と方法					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
距離の定義と測定方法	十分に理解し, 他者に適切に説明できる	理解している	理解していない		
距離測量の系統誤差の補正方法	十分に理解し, 他者に適切に説明できる	理解している	理解していない		
水準測量の器械類と方法	十分に理解し, 他者に適切に説明できる	理解している	理解していない		
角測量の器械類と方法	十分に理解し, 他者に適切に説明できる	理解している	理解していない		
学科の到達目標項目との関係					
準学士課程 2(2)					
教育方法等					
概要	測量の基礎を学ぶ。				
授業の進め方・方法	測量の本質は, 誤差の正しい見積もりとそれに基づく位置の推計である。確かな実力を身に付けるために, 本授業では毎回小テストを行う。 参考図書: 日本地図センター『新版 地図と測量のQ&A』日本地図センター, 2013年. 1296円 (税込) 中村英夫(著), 清水英範(著)『測量学』技報堂出版, 2000年. 6480円 (税込) 吉澤孝和(著)『図解 測量学要論』日本測量協会, 2005年. 7800円 (税込) 成績評価の方法: 中間試験 (40%), 定期試験 (40%), 課題 (10%) および小テスト (10%) の結果を合計 (100%) して評価する。				
注意点	正当な理由もなく授業に遅刻あるいは欠席した場合には, 小テストの点数を減点する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	距離測量 (1)	距離の定義, 距離測量の分類と精度 (MCC)	
		2週	距離測量 (2)	距離測量の系統誤差の補正方法 (MCC)	
		3週	水準測量 (1)	水準測量の用語と器械類 (MCC)	
		4週	水準測量 (2)	直接水準測量の方法 (昇降式) (MCC)	
		5週	水準測量 (3)	直接水準測量の方法 (器高式) (MCC)	
		6週	水準測量 (4)	直接水準測量の誤差処理 (1) (MCC)	
		7週	水準測量 (5)	直接水準測量の誤差処理 (2) (MCC)	
		8週	中間試験	中間試験までの内容について理解度を確認する	
	2ndQ	9週	角測量 (1)	角測量の器械と器具 (MCC)	
		10週	角測量 (2)	角測量の方法 (1) (MCC)	
		11週	角測量 (3)	角測量の方法 (2) (MCC)	
		12週	角測量 (4)	角測量の誤差処理 (1) (MCC)	
		13週	角測量 (5)	角測量の誤差処理 (2) (MCC)	
		14週	角測量 (6)	角測量の誤差処理 (3) (MCC)	
		15週	定期試験	定期試験までの内容について理解度を確認する	
		16週	総復習	定期試験までの内容について理解度を深める	
評価割合					
	中間試験	定期試験	小テスト	課題	合計
総合評価割合	40	40	10	10	100
距離の定義と測定方法	10	0	2	2	14
距離測量の系統誤差の補正方法	10	0	1	1	12
水準測量の器械類と方法	20	0	2	2	24
角測量の器械類と方法	0	40	5	5	50